

かお・人・interview

2024年8月9日

所長

インタビュー



国土交通省 九州地方整備局
延岡河川国道事務所 所長

島川 浩一 氏

SHIMAKAWA Koichi

延岡市の流域治水と防災において、重要な役割を担っているのが延岡河川国道事務所だ。河川事業としては、五ヶ瀬川水系の美しい自然を保護し、持続可能なかわまちづくりを推進。道路に関しては、南海トラフ地震などに備え九州中央自動車道の整備により、代替機能の確保、救急医療アクセスの改善などを目指している。これらの取り組みは、近隣地域に住む人々の安全・安心を守ることに繋がっている。現在取り組んでいる事業や課題について島川所長に話を伺う。

Q所長就任にあたっての抱負

宮崎県北部の皆様が安全で安心して暮らせるよう防災・減災・危機管理に努めてまいります。特に沿岸部においては南海トラフ地震のリスクも存在します。いつ来るかわからない地震や災害にしっかりと備えていきたいと考えております。また、河川事業では気候変動の影響を踏まえ、五ヶ瀬川水系の流域治水の取り組みをさらに加速化・深化していきます。

道路事業では九州中央自動車道の整備推進や国道10号等の交通安全対策や計画的なメンテナンスを行います。河川・道路事業とも地元の皆様からの期待がとても大きな地域だと感じております。その期待にしっかりと応えられるよう事務所一丸となって事業を推進してまいります。



▲混雑緩和や安全性向上が期待される国道10号門川日向拡幅開通式

Q九州や宮崎との関りについて

宮崎での勤務は2度目です。24年前に宮崎工事事務所の日南国道維持出張所で2年間勤務しておりました。現場の最前線で大雨による通行規制や地元企業の皆様とともに災害復旧工事等に従事しました。その際、通行止めをすれば経済や地域の皆様の生活に多大な影響を与えることや、安全で安心して暮らすための道路管理の大切さを身に染みて感じさせられました。ここでの経験が私の道路に対する考え方の原点だと思っています。



▲童里トンネル ブームヘッダー330kw

Q事務所の紹介(事業内容、組織、特徴)

当事務所の組織は、事務所幹部、8課、3出張所の61名です。まず、主な河川事業としては、五ヶ瀬川水系の改修・維持管理を行っています。ここ五ヶ瀬川水系でも気候変動による水害の激甚化・頻発化が予想されることから、気候変動を踏まえ「五ヶ瀬川水系河川整備計画」の変更を急ぐとともに、流域のあらゆる関係機関による「五ヶ瀬川水系流域治水プロジェクト」を推進しています。

次に、主な道路事業としては、九州中央自動車道「蘇陽五ヶ瀬道路」、「五ヶ瀬高千穂道路」、「高千穂雲海橋道路」で改築事業を推進しています。また、国道10号、東九州自動車道(佐伯IC～延岡南IC)、九州中央自動車道(雲海橋交差点～平底交差点、蔵田交差点～延岡JCT)において、舗装・橋梁・トンネル等の道路の維持修繕や交通安全対策事業を行っています。

Q今年度の事業概要

河川事業については、「五ヶ瀬川・大瀬川の適正分派」や「天下地区の河川防災ステーション」等の治水事業とともに、恒富地区において地域の活性化を目的とした「かわまちづくり」事業も推進します。

道路事業については、九州中央自動車道「蘇陽五ヶ瀬道路」で令和5年11月に着工式を行い、改良工事や設計、用地買収を推進しています。また、「五ヶ瀬高千穂道路」の童里トンネルにおいては、令和6年6月時点で、掘削延長が約246m(約50%)と順調に進んでいます。「高千穂雲海橋道路」については、昨年引き続き設計、用地買収を推進しています。皆様方のご支援

もあり、今年4月には未事業化区間である「平底～蔵田間」が計画段階評価を進めるための調査区間となり、宮崎県内の中央自動車道全線開通に向けた取り組みがさらに進み、一日も早く開通できるよう邁進してまいります。

国道10号では、令和5年6月に門川日向拡幅(L=12.8km)の開通式を行い国道の4車線化が完了しています。また、安全・安心を確保するため、管内で死傷事故や事故件数が高い、不動寺交差点外4カ所の交通安全対策事業や法面防災も推進しています。

東九州自動車道(佐伯IC～延岡南IC)、九州中央自動車道(雲海橋交差点～平底交差点、蔵田交差点～延岡JCT)では、良好な道路管理水準を維持するため、計画的な舗装補修や法面補修、構造物点検などを行っています。



▲かわあそびin五ヶ瀬川



▲舗装修繕、舗設状況



▲法面防災完成



▲薑谷工用道路

Q 地域との連携・協働について

恒富地区で地元住民の皆様と意見交換しながら「かわまちづくり」事業を推進するとともに、11年連続で水質日本一の「清流」五ヶ瀬川を活かした「川あそびin五ヶ瀬川」をはじめとした河川に関連するイベント等を積極的に支援することで「水郷延岡」にふさわしい河川空間を創造し、観光客の増加や地域活性化等に寄与します。日豊海岸では、風景街道(日豊海岸シーニック・バイウェイ)の皆様と風景診断を令和5年12月に行い、地域の魅力を高める活動を行っています。



▲かわまちづくり(コノハナロード)



▲清掃活動状況

国道10号の直轄管理区間においては、地域の皆様方と「道守(管内23団体)」や「ボランティア・サポート・プログラム(管内7団体)」を通じて、歩道の清掃や植樹などボランティア活動を行っています。

Q 地域建設業への要望・メッセージ

地域を守る建設業界を維持するための施工性向上(働き方改革・労務費・ICT活用など生産性の向上)や地位向上(イメージアップ)、担い手確保について、業界や県、市町と連携しながら取り組んでいきます。

Q 趣味や健康法について

まとまった時間を作るのが難しいため、短い時間でも楽しみ、なおかつ健康にもつながるウォーキングが趣味になりました。四季折々に表情を変える五ヶ瀬川や大瀬川の堤防を散歩し、リフレッシュしています。もうひとつの趣味はスポーツ観戦です。その中でも野球を好んで見えています。スタジアムに足を運んで、実際の試合や迫力を楽しむのが一番ですが、今はテレビがメインです。応援しているチームの試合には一喜一憂しています。

プロフィール



熊本県生まれ、53歳。

H5年 4月 建設省 九州地方建設局

大隈工事事務所 調査第三課

H7年 4月 長崎工事事務所 工務課

H9年 4月 道路部 道路計画第二課

H12年4月 宮崎工事事務所 日南国道維持出張所
技術係長

H14年4月 国土交通省 九州地方整備局 福岡国道
工事事務所 調査第一課 専門調査員

H16年4月 福岡国道事務所 交通対策課 専門員

H17年4月 福岡国道事務所 工務課 工務第一係長

H20年4月 道路部 地域道路課 事業係長

H22年4月 道路部 道路計画第一課 調査第一係長

H25年4月 大分河川国道事務所 建設監督官

H27年4月 熊本河川国道事務所 調査第二課長

H28年7月 熊本地震災害対策推進室 熊本分室 (併任)

H30年4月 道路部 地域道路課長補佐

R元年 7月 道路部 建設専門官

R2年 4月 福岡国道事務所 副所長

R4年 4月 国土交通省 総合政策局 総務課 専門調査官

R6年 4月 現職